

厚生労働大臣 殿

鹿児島大学病院
高松 英

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	242人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	166人	191人	321.2人	看護業務補助	22人	診療エックス線技師	-人
歯 科 医 師	101人	17人	114.6人	理学療法士	6人	臨床検査技師	41人
薬 剤 師	25人	10人	35.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	-人
保 健 師	0人	0人	-人	視能訓練士	1人	検査その他	2人
助 産 師	37人	1人	37.8人	義肢装具士	-人	あん摩マッサージ指圧師	-人
看 護 師	515人	30人	541.3人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	-人
准 看 護 師	1人	0人	1.0人	栄 養 士	-人	その他の技術員	14人
歯 科 衛 生 士	9人	6人	15.0人	歯 科 技 工 士	5人	事 務 職 員	119人
管 理 栄 養 士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	29人	そ の 他 の 職 員	14人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の中將の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	576.7人	30.3人	607人
1日当たり平均外来患者数	953.7人	410.3人	1,364人
1日当たり平均調剤数	入院; 667.3 剤	外来; 445.1 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取り扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取り扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断方	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的男子刺激療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・スキンファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・Open MRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するYag Laserによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・SDI法による抗癌剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・マススペクトロメリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・成長障害のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・開脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・骨髓細胞移植による血管新生療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取り扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ 無	0人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ 無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ 無	0人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ 無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ 無	0人
・カフェイン併用化学療法	有・ 無	0人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ 無	0人
・突発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ 無	0人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ 無	0人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ 無	0人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ 無	0人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ 無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ 無	0人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ 無	0人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ 無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ 無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ 無	0人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ 無	0人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ 無	0人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ 無	0人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ 無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ 無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・ 無	0人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ 無	0人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ 無	0人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ 無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ 無	0人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ 無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ 無	0人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ 無	0人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ 無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ 無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ 無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ 無	0人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ 無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ 無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ 無	0人
・活性化血小板の検出	有・ 無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ 無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ 無	0人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ 無	0人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ 無	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ 無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取り扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取り扱い患者数
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・歯周組織再生誘導法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・レーザー応用によるう蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取り扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・歯周組織再生誘導法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取り扱い患者数
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

- (注) 1 「取り扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	43人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	21人
・多発性硬化症	20人	・ウェゲナー肉芽腫症	6人
・重症筋無力症	59人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	34人
・全身性エリテマトーデス	201人	・多系統萎縮症	13人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	26人	・膿疱性乾癬	14人
・サルコイドーシス	46人	・広範脊柱管狭窄症	13人
・筋萎縮性側索硬化症	17人	・原発性胆汁性肝硬変	10人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	110人	・重症急性膵炎	3人
・特発性血小板減少性紫斑病	51人	・特発性大腿骨頭壊死症	35人
・結節性動脈周囲炎	15人	・混合性結合組織病	21人
・潰瘍性大腸炎	25人	・原発性免疫不全症候群	12人
・大動脈炎症候群	25人	・特発性間質性肺炎	11人
・ピュルガー病	8人	・網膜色素変性症	22人
・天疱瘡	6人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	38人	・原発性肺高血圧症	10人
・クローン病	25人	・神経線維腫症	17人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	6人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・パーキンソン病関連疾患	45人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	7人
・後縦靭帯骨化症	56人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	2人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1.臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2.臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	155回		
剖検の状況	剖検症例数	21例	剖検率 15.4%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
21世紀の新しい治療としての慢性疾患に対する温熱療法 の確立	鄭 忠和	第一内科	1,900	○補 委補 日本学術振興会
心エコー法による弁輪縫縮術 後の虚血性増幅弁逆流の発 生機序:後尖可動性低下の重 トランスクリプトームおよびプ ロテオーム解析によるHGFの 組織修復作用の機序解明	尾辻 豊	第一内科	800	○補 委補 日本学術振興会
プロテオーム解析による劇症 肝炎でのHGFの生理機能の 解明と新規分子マーカーの探	坪内 博仁	消化器内科 (第二内科)	4,400	○補 委補 日本学術振興会
炎症性腸疾患の画期的治療 法に関する臨床研究	坪内 博仁	消化器内科 (第二内科)	2,500	○補 委補 日本学術振興会
E型肝炎の感染経路・宿主域・ 遺伝的多様性・感染防止・診 断・治療に関する研究	坪内 博仁	消化器内科 (第二内科)	3,000	○補 委補 厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関す る調査研究	坪内 博仁	消化器内科 (第二内科)	1,000	○補 委補 厚生労働省
B型及びC型肝炎ウイルス感 染者における新たな発がん予 防法の確立のための肝がん 発生等の病態解明に関する	坪内 博仁	消化器内科 (第二内科)	1,500	○補 委補 厚生労働省
B型及びC型肝炎ウイルスの 感染者に対する治療の標準 化に関する臨床的研究	坪内 博仁	消化器内科 (第二内科)	3,000	○補 委補 厚生労働省
難治性炎症性腸疾患障害に 関する調査研究	坪内 博仁	消化器内科 (第二内科)	1,000	○補 委補 厚生労働省
ダブルトランスプラント療法に よる難治性小児白血病治療 の開発	河野 嘉文	小児科	1,500	○補 委補 日本学術振興会
プロテインチップによるスー パー抗原抗体価別川崎病の 病因検索	野村 裕一	小児科	1,800	○補 委補 日本学術振興会
小児遷延性感染症の病原菌 ニオケルバイオフィルム形成 能の検討と新規関連遺伝子	西 順一郎	小児科	1,500	○補 委補 日本学術振興会
小児白血病の骨髄血管内皮 細胞の発現遺伝子のマイクロ アレイ法による解析	岡本 康裕	小児科	400	○補 委補 森永奉仕会
癌の進展に対する診断の精 度向上に関する研究	愛甲 孝	腫瘍制御学・ 消化器外科学	2,000	○補 委補 国民健康保険 高原病院 高原町長 日高 光浩
患者侵襲軽減のための腹腔 鏡手術の成績向上のための 研究	愛甲 孝	腫瘍制御学・ 消化器外科学	2,000	○補 委補 国民健康保険 高原病院 高原町長 日高 光浩
施術侵襲軽減のための病態 解明と対策	愛甲 孝	腫瘍制御学・ 消化器外科学	2,000	○補 委補 垂水中央病院 院長 安部 智

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
消化器癌リンパ節微小転移巢の遺伝子解析と着床・転移形成機序の解明	夏越 祥次	腫瘍制御学・消化器外科学	5,500	○補委 日本学術振興会
術後冠動脈造影に基づいたバイパスグラフトの選択と使用方法に関するガイドライン作成のための日米多施設共同	坂田 隆造	第二外科	600	○補委 国立循環器病センター
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に関する至適冠血行再建法に関する研究	坂田 隆造	第二外科	1,000	○補委 国立循環器病センター 厚生労働省
脳虚血における血管新生療法の基礎的研究	新納 正毅	脳神経外科	1,200	○補委 日本学術振興会
新規脳保護因子としてのC型ナトリウム利尿ペプチド(CNP)の研究	永山 哲也	脳神経外科	2,400	○補委 日本学術振興会
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	有田 和徳	脳神経外科	1,400	○補委 厚生労働省科学研究費
Lubricinの新たな機能とその関節炎病態における役割	山元 拓哉	整形外科	1,100	○補委 日本学術振興会
がん・肉腫幹細胞を標的とした新規治療法の開発ー治療抵抗性肉腫の克服を目指して	小宮 節郎	整形外科	8,060	○補委 日本学術振興会
変形性関節症の病態解明ー生体力学的ストレス反応性分子の解析ー	井尻 幸成	整形外科	2,100	○補委 (財)日本リウマチ財団
子宮癌に対するシグナル抑制遺伝子の検討	神尾 真樹	生殖病態生理学	180	○補委 文部科学省
SLE患者T細胞におけるDNAメチル化と核クロマチン構造に関する研究	金蔵 拓郎	皮膚疾患学	1,000	○補委 日本学術振興会
遺伝子メチル化スコアによる尿路上皮癌患者の予後予測システムの構築と実用化	中川 昌之	泌尿器科	2,100	○補委 日本学術振興会
メチル化特異的PCRを用いた前立腺癌の新規バイオマーカーの探索と臨床応用	榎田 英樹	泌尿器科	2,400	○補委 日本学術振興会
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	中川 昌之	泌尿器科	300	○補委 厚生労働省
硝子体生物学の研究:集学的硝子体環境制御による網脈絡膜疾患の治療法の開発	坂本 泰二	眼科	3,900	○補委 日本学術振興会
細胞外マトリックスに着目したポリープ状脈絡膜血管症の病態解明の研究	大久保明子	眼科	1,300	○補委 日本学術振興会
硝子体内薬物投与による網膜障害の研究	山下 高明	眼科	2,000	○補委 文部科学省
超音波とマイクロバブルを用いたドラッグデリバリーシステムの開発	園田 祥三	眼科	2,300	○補委 日本学術振興会

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
マルチサイトカインに着目した 涙液概日リズムの解析	内野 英輔	眼科	1,100	○補 委 日本学術振興会
超音波を利用した新しい網膜 への遺伝子・薬物導入法の開 発	坂本 泰二	眼科	1,100	○補 委 文部科学省
新世代広域スペクトラム経鼻 ワクチンの開発とその有用性 に関する研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科	4,200	○補 委 日本学術振興会
IgA腎症における口蓋扁桃B 細胞の免疫学的作用 ～扁桃の適応基準設定をめ ざして～	田中 紀充	耳鼻咽喉科	3,300	○補 委 日本学術振興会
血管平滑筋収縮弛緩に影響 する麻酔薬の細胞内作用機 序の解明	上村 裕一	麻酔科蘇生科	2,000	○補 委 日本学術振興会
ヒト血管平滑筋を用いた敗血 症ならびに人工心肺時にお ける血管反応性に関する研究	恒吉 勇男	麻酔科蘇生科	800	○補 委 日本学術振興会
体外循環後脳障害に対する 集中治療室での軽度脳低体 温療法の有用性に関する検 査	垣花 泰之	集中治療部	1,100	○補 委 日本学術振興会
虚血性心疾患の手術死亡率 及び合併症発症率改善のた めの多施設共同研究	上村 裕一	麻酔科蘇生科	1,500	○補 委 国立循環器病センター
壊死性腸炎に対する経口ミコ ナゾール投与療法の有効性 に関する研究	高松 英夫	小児外科	800	○補 委 日本学術振興会
中枢性摂食異常症に関する 調査研究	乾 明夫	心身医療科	1,600	○補 委 厚生労働省
癌性悪液質に関するトランス レーショナルリサーチ	乾 明夫	心身医療科	3,500	○補 委 日本学術振興会
				補 委
				補 委
				補 委

計 46

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資すると判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun. 2006; 341: 591-598.	Expression of lectin-like oxidized LDL receptor-1 in smooth muscle cells after vascular injury.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Circulation. 2006; 114: 1529-1534.	Mechanism of recurrent/persistent ischemic/functional mitral regurgitation in the chronic phase following surgical annuloplasty: importance of augmented posterior leaflet	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Circ J. 2006; 70; 248-253.	Increased Tei Index Suggests Absence of Adequate Coronary Reperfusion in Patients With First Anteroseptal Acute Myocardial	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Circ J. 2006; 70: 1297-1302.	Usefulness of a novel ultrasound transducer for continuous monitoring treadmill exercise echocardiography to assess coronary artery	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Coron Artery Dis. 2006; 17: 401-407.	Association of coronary shear stress with endothelial function and vascular remodeling in patients with normal or mildly diseased coronary arteries.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
J Cardiol. 2006; 48: 209-213.	Cibenzoline attenuates coronary systolic reversal flow in a patient with hypertrophic obstructive cardiomyopathy.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Pacing Clin Electrophysiol. 2006; 29: 985-990.	Effect of right ventricular apex pacing on Tei index and BNP in patients with a dual chamber pacemaker.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Circ J 2006; 70: 463-470.	Repeated thermal therapy up-regulates endothelial nitric oxide synthase and augments angiogenesis in a mouse model of hindlimb	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
J Cardiol. 2006; 48: 125-132.	Elevated levels of brain natriuretic peptide as a predictor of impaired coronary endothelial function in patients with left ventricular	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
International Congress Series 2006; 1287: 298-303.	Repeated thermal therapy improves outcomes in patients with chronic pain.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Modern Rheumatology. 2006; 16: 113-116.	Stevens Johnson Syndrome induced by mizoribine and reversible posterior leucoencephalopathy syndrome related to hypertension and cyclosporine A in a patient	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Leukemia Lymphoma. 2006; 47: 1400-1403.	High proviral load of human T-lymphotropic virus type I in patients with myelodysplastic syndrome carrying HLA-A26.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Internal Medicine. 2006; 45: 297-301.	Immunosuppressive treatment for mixed connective tissue disease may facilitate the development of Adult T cell leukemia/Lymphoma in a HTLV-I carrier.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Am J Med Sci. 2006; 332: 142-147.	Oncogenic osteomalacia in a case with a maxillary sinus mesenchymal tumor.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Diabetes Metab Res Rev. 2006; 22: 64-71.	Cyclic AMP/cAMP-GEF pathway amplifies insulin exocytosis induced by Ca ²⁺ and ATP in rat islet β -cells.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Acta Haematol. 2006; 116: 62-66.	True malignant histiocytosis with trisomy 9 following primary mediastinal germ cell tumor.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Anticancer Res. 2006; 26: 3387-3392.	Antiproliferative Effects of Gefitinib are Associated with Suppression of E2F-1 Expression and Telomerase Activity.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Internal Medicine. 2006; 45: 827-829.	Heart failure caused by hookworm infection possibly associated with organic food consumption.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Med Sci. 2006; 332: 39-42.	Radiographic appearance of bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) developing during bucillamine treatment for	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Med Sci Sports Exerc. 2006; 38: 2-6.	Usefulness and cost effectiveness of cardiovascular screening of young adolescents.	Tei C, et al	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
厚生労働省難治性疾患克服研究事業 特発性心筋症に関する調査研究 <友池班> 2005年度報告書. 2006; 33-	心Fabry病に対するレンチウイルスベクターを用いた遺伝子治療の検討.	鄭 忠和	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
医学研究応用研究財団2004年度研究報告. Research Papers of The Suzuken Memorial Foundation 2006; 23.	難治性心不全・慢性疲労症候群・慢性疼痛に対する温熱療法の多面的効果の検討. 一難治性疾患のQOL・ADLを向上させる新しい治療法の確立一	鄭 忠和	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
J Cardiol. 2006; 47: 267-269.	禁煙治療の保険適応について.	山口 昭彦 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
日本透析医学会雑誌 2006; 39: 168-169.	Fabry病の心病変.	竹中 俊宏 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
糖尿病 2006; 49: 41-46.	低血糖症を伴った巨大胸膜線維性腫瘍の1例.	郡山 暢之 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
J Cardiol. 2006; 48: 171-173.	軽度の上行大動脈拡大を伴う重症大動脈閉鎖不全.	湯浅 敏典 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
心エコー図のよみかた. 文光堂, 2006; 165-169.	78歳, 男性. 心房細動あり. 心雑音なし. 動悸で受診.	尾辻 豊 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
エキスパートをめざす循環器診療(弁膜疾患, 心筋・心膜疾患). 南江堂, 2006; 53-64.	リウマチ性および非リウマチ性僧帽弁閉鎖不全症.	尾辻 豊 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
教育アンケート調査年鑑 上. 創育社, 2006; 535-537.	家庭内および家庭外での逆境体験と子どもの自傷行為.	増田 彰則 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
臨床心臓病学. VII 心筋疾患(松崎益徳, 吉川純一 編), 文光堂, 2006; 378-382.	遺伝性代謝障害.	竹中 俊宏 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
心不全を予防する: 非薬物療法による予防と管理. 中山書店, 2006;	温熱療法.	木原 貴士 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
循環器疾患のリハビリテーション. 3. 心不全. 三輪書店, 2006; 174-	4) 温熱療法.	木原 貴士 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
血管エコー テクニックと意義. Chap.12 血管機能, インナービジョン, 2006; 176-182.	FMD 血管機能検査のテクニックと臨床的意義.	今村 正和 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
臨床心臓病学. III 心不全(松崎益徳, 吉川純一 編), 文光堂, 2006;	温熱療法.	池田 義之 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
心臓病患者さんの生活・退院指導. MCメディカル出版 2006;	3. 運動療法.	窪 薫 琢郎 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
循環器疾患最新の治療 2006-2007. 南江堂, 2006; 148-152.	大動脈弁閉鎖不全症.	植村 健 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
日本内科学会誌 2006; 95: 426-431.	心不全の温熱療法. 第33回 内科学の展望 高齢化時代の内科学.	鄭 忠和	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
日本医事新報 2006; 4307: 90-91.	質疑応答: サウナの高血圧への影響	鄭 忠和	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
性差と医療 2006; 3: 37-38.	大学病院における女性医療の可能性と展望	鄭 忠和	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
新目でみる循環器病シリーズ 2006; 12: 46-55.	機能的・虚血性僧帽弁逆流.	尾辻 豊 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
心エコー 2006; 7: 748-756.	虚血性僧帽弁閉鎖不全症の評価.	尾辻 豊 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
心エコー 2007; 8: 12-22.	Tei index.	尾辻 豊 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
心臓 2006; 38: 314-317.	肥大型閉塞性心筋症 state of art I. Gene mutation から見た肥大型心筋症の病態.	阿南 隆一郎 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
性差と医療 2006; 3: 305-310.	思春期の精神的問題と性差	増田 彰則 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
医学のあゆみ 別冊 2006; 121-125.	温熱療法 - 慢性疼痛に対する温熱療法の効果	増田 彰則 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
CARDIAC PRACTICE 2006; 17: 15-19.	Fabry病の心病変と蛋白補充療法の効果.	竹中 俊宏 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
老年医学, ライフサイエンス 2006; 44: 489-494.	疾患別にみた温泉療法の効能. 4) 高血圧, 心臓病高齢者の温泉療法.	木原 貴士 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
性差と医療 2006; 3: 37-38.	大学病院における女性医療の可能性と展望.	嘉川 亜希子 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
心エコー 2006; 7: 998-1005.	総合的心機能の評価: Tei indexによる左室全体の機能評価.	高崎 州亜 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
医学のあゆみ 2006; 218: 1277-1282.	慢性心不全に対する温熱療法.	新里 拓郎 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
CARDIAC PRACTICE 2006; 17: 63-67.	心不全治療up to date: 慢性心不全に対する温熱療法・運動療法.	窪菌 琢郎 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
呼吸と循環 2006; 54: 1197-1203.	わが国における心臓リハビリテーションの最前線: 温熱療法と心臓リハビリテーション.	窪菌 琢郎 他	循環器・呼吸器・代謝内科学(心臓血管内科;第1内科)
Cytokine	Interleukin-10 or tumor necrosis factor- α polymorphisms and the natural course of hepatitis C virus infection in a hyperendemic	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科;第二内科)
Hepatol Res	Spontaneous elimination of hepatitis C virus RNA in individuals with persistent infection in a hyperendemic area of Japan	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科;第二内科)

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatol Res	Timing of interferon therapy and sources of Interferon in patients with acute hepatitis C	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科:第二内科)
Int J Mol Med	Repeated intravenous injection of recombinant human hepatocyte growth factor ameliorates liver cirrhosis but causes albuminuria in rats	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科:第二内科)
分子消化器病 (Molecular Gastrointestinal)	HGFによる粘膜組織修復系の今後の見通しとは?	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科:第二内科)
Modern Physician	劇症肝炎の診断と治療	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科:第二内科)
医学のあゆみ	劇症肝炎に対するHGFの臨床応用—開発型の医師主導治験	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科:第二内科)
Int J Cancer	Alanine aminotransferase level as a predictor of hepatitis C virus-associated hepatocellular carcinoma incidence in a community-based population in Japan.	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科:第二内科)
International Journal of Molecular Medicine(Int J Mol Med).	Repeated intravenous injection of recombinant human hepatocyte growth factor ameliorates liver cirrhosis but causes albuminuria in rats.	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科:第二内科)
Liver Transpl	Navigator-echo-based MR provides high resolution images and precise volumetry of swine livers without breath holding or injection	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科:第二内科)
Oncol Rep	Effect of hepatocyte growth factor on endogenous hepatocarcinogenesis in rats fed a choline-deficient L-amino acid-defined diet	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科:第二内科)
J Cardiol	Progressive congestive heart failure due to common iliac Arteriovenous Fistula: A case report	坪内 博仁 他	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科:第二内科)
Neuropsychologia 44(10):1752-1764,2006	Perceptual, premotor, and motor factors in the performance of a delayed reaching task by subjects with unilateral spatial neglect	Megumi Shimodozono, et al	リハビリテーション科
Int J Biometeorol 50(4):243-50,2006	Short-term effects of thermotherapy for spasticity on tibial nerve F-waves in post-	Shuji Matsumoto, et al	リハビリテーション科
International Journal of Neuroscience 117,315-326,2007	Functional recovery and expression of GDNF seen in photochemically induced cerebral infraction.	Keisuke Horinouchi, et al	リハビリテーション科
Journal of the American Geriatrics Society 54(5): 867-869, 2006	The effects of gum-chewing therapy on salivation in stroke patients.	Tetsuo Kawasaki, et al	リハビリテーション科
Pediatr Transplant. 10(5):635-8, 2006	Response of heavily treated and relapsed hepatoblastoma in the transplanted liver to single-agent therapy with irinotecan.	Kawano Y, et al	小児科
FEMS microbiol lett 256(2):266-272, 2006	Role of the carboxy-terminal region of the outer membrane protein AatA in the export of dispersin from enteroaggregative Escherichia	Nishi J, et al	小児科
Infect Control Hosp Epidemiol 27(2):188-190, 2006	Biofilm formation by and accessory gene regulator typing of methicillin-resistant Staphylococcus aureus strains recovered from patients with nosocomial infections.	Nishi J, et al	小児科
Circ J. 70(4):509-511, 2006	Suspected takotsubo cardiomyopathy caused by withdrawal of buprenorphine in a child.	Nomura Y, et al	小児科
Pediatr Transplant. 10:822-5, 2006	Rapid progression of metastatic osteosarcoma after initiation of a reduced-intensity conditioning regimen with immunosuppressive	Shinkoda Y, et al	小児科

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Hematol Oncol 23:563-569, 2006	Successful treatment of an endodermal sinus tumor of the vagina by chemotherapy alone: A rare case of an infant diagnosed by pathological examination of discharged tumor fragment.	Shinkoda Y, et al	小児科
Med Sci Sport Exerc 38(1):2-6, 2006	Usefulness and cost effectiveness of cardiovascular screening of young adolescents	Nomura Y, et al	小児科
Arthritis Research & Therapy 8(3):1-9, 2006	A promoter haplotype of the interleukin-18 gene is associated with juvenile idiopathic arthritis in the Japanese population.	Kawano Y, et al	小児科
Mod Rheumatol 15(6):397-404, 2006	Pharmacokinetics, efficacy, and safety of short-term (12 weeks) etanercept for methotrexate-refractory polyarticular juvenile	Kawano Y, et al	小児科
小児保健研究 65(3):483-487, 2006	予防接種通年化と頻回通知による麻疹予防接種率増加 西之表市の調査から。	根路銘 安仁	小児科
小児保健研究 65(5):684-689, 2006	平成17年度の鹿児島県における超重症児の現状	根路銘 安仁	小児科
小児保健研究 65(6):822-826, 2006	種子島の保育所・幼稚園における予防接種状況 第1報 - 予防接種率調査 -	根路銘 安仁	小児科
小児保健研究 65(6):827-831, 2006	種子島の保育所・幼稚園における予防接種状況 第2報 - 予防接種に対する意識調査 -	根路銘 安仁	小児科
日本小児呼吸器疾患学会雑誌17(2):143-	小児気道由来nontypable Haemophilus influenzaeの付着因子とbiofilm形成能。	西 順一郎	小児科
気管支学(0287-2137)29巻1号 Page30-37(2007.01)	気道ステントをめぐる諸問題 pros and cons 気道ステントの外科治療への応用	柳 正和 他	腫瘍制御学・消化器外科学
鹿児島大学医学雑誌 (0368-5063)58巻3号 Page37-46(2007.01)	ラット閉塞性黄疸におけるKupffer細胞の一酸化窒素(NO)およびTumor Necrosis Factor- α (TNF α)産生能と減黄による影響の検討(Nitric Oxide and Tumor Necrosis Factor- α Production of Kupffer Cells In Rats with Obstructive Jaundice and Its Relief by External	平田 晋吾 他	腫瘍制御学・消化器外科学
手術(0037-4423)61巻3号 Page297-	【食道癌・胃癌手術の標準的リンパ節郭清 How to do it?】胃上部進行癌	石神 純也 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本医事新報(0385-9215)4323号 Page73-78(2007.03)	【臨床医学の展望2007】消化管外科学	夏越 祥次 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本腹部救急医学会雑誌(1340-2242)27巻2号 Page429(2007.02)	腹腔鏡補助による緊急手術を施行した下部消化管穿孔の2症例	青木 雅也 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本腹部救急医学会雑誌(1340-2242)27巻2号 Page414(2007.02)	胃瘻チューブトラブルによる腹部救急患者の2例	溝口 資夫 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本腹部救急医学会雑誌(1340-2242)27巻2号 Page358(2007.02)	大量下血を契機に発見された十二指腸GISTの1例	馬場 研二 他	腫瘍制御学・消化器外科学
手術(0037-4423)61巻2号 Page243-	臨床研究 食道残胃吻合時の残胃の巻き付けと類His角形成による逆流予防の工夫	石神 純也 他	腫瘍制御学・消化器外科学
消化器外科(0387-2645)30巻1号 Page21-27(2007.01)	【QOLを考慮した高度進行消化器癌手術 切除と再建】食道胃接合部付近の高度進行胃癌手術	石神 純也 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本乳癌学会総会プログラム抄録集14回 Page481(2006.05)	G-CSF産生乳癌の1例	喜多 芳昭 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本乳癌学会総会プログラム抄録集14回 Page468(2006.05)	combination therapyによりQOL維持長期生存が得られている肝・鎖骨上/腹部リンパ節転移進行再発乳癌症例	大脇 哲洋 他	腫瘍制御学・消化器外科学
肺癌(0386-9628)46巻5号 Page692(2006.11)	転移性肺腫瘍との鑑別を要した肺内リンパ節	柳 正和 他	腫瘍制御学・消化器外科学

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
手術(0037-4423)60巻13号 Page2039-2043(2006.12)	空腸瘻造設の問題点 空腸瘻カテーテル留置に起因した術後イレウス症例からの教訓	大脇 哲洋 他	腫瘍制御学・消化器外科学
癌と化学療法(0385-0684)33巻11号 Page1653-	Gemcitabine併用化学放射線療法が奏効し3年7ヵ月長期生存が得られた切除不能膵癌の1例	新地 洋之 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本内視鏡外科学会雑誌(1344-6703)11巻5号 Page651-	腹腔鏡下に摘出した胃穹窿部の石灰化を伴うGISTの1例	實 操二 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻10号 Page1638-	同時性多発肝転移,骨転移を来した直腸腺扁平上皮癌の1例	佐々木 健 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本癌治療学会誌(0021-4671)41巻2号 Page754(2006.09)	動注ルートを用いたFOLFOX4レジメが奏効した肝転移陽性S状結腸癌の一例	石神 純也 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本癌治療学会誌(0021-4671)41巻2号 Page557(2006.09)	嚢胞性病変にて発見された大腸癌リンパ節転移の1切除例	小倉 芳人 他	腫瘍制御学・消化器外科学
外科(0016-593X)68巻12号 Page1442-1446(2006.11)	【知っておくべき良性疾患に対する外科的処置および手術】 食道 食道・胃静脈瘤手術	上野 真一 他	腫瘍制御学・消化器外科学
癌と化学療法(0385-0684)33巻10号 Page1473-	外科的切除を含む集学的治療により長期生存が得られた直腸癌同時性多発肝転移(H3)の1例	原口 優清 他	腫瘍制御学・消化器外科学
癌と化学療法(0385-0684)33巻9号 Page1345-	術前放射線化学療法にて組織学的CRが得られた他臓器浸潤直腸癌の1治験例	石神 純也 他	腫瘍制御学・消化器外科学
鹿児島大学医学雑誌(0368-5063)58巻2号 Page23-29(2006.09)	小開腹と用手補助併用による腹腔鏡下脾温存脾体尾部切除術の2例	前村 公成 他	腫瘍制御学・消化器外科学
鹿児島大学医学雑誌(0368-5063)58巻2号 Page19-22(2006.09)	腹腔鏡補助下幽門側胃切除術を行った胃脂肪腫の1例	中馬 豊 他	腫瘍制御学・消化器外科学
鹿児島大学医学雑誌(0368-5063)58巻2号 Page15-18(2006.09)	直腸癌に対するカーブドカッターを用いた腹腔鏡下低位前方切除術	北菌 正樹 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)67巻8号 Page1744-	卵巣転移で発見された乳腺浸潤性小葉癌の1例	保 清和 他	腫瘍制御学・消化器外科学
臨床外科(0386-9857)61巻11号 Page79-85(2006.10)	【イラストレイテッド外科標準術式】 胃の手術 幽門側胃切除空腸パウチ間置術	帆北 修一 他	腫瘍制御学・消化器外科学
緩和医療学(1345-5575)8巻4号 Page385-392(2006.10)	がん疼痛緩和についての医師へのアンケート結果 WHOラダーの医師の認知度	三木 徹生 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本大腸肛門病学会雑誌(0047-1801)59巻9号 Page548(2006.09)	大腸癌肝転移症例に対する治療方針	北菌 正樹 他	腫瘍制御学・消化器外科学
臨床外科(0386-9857)61巻8号 Page1131-	検診で指摘された小膵癌の1例	花園 幸一 他	腫瘍制御学・消化器外科学
腫瘍学(0386-9857)61巻12号 Page10-12(2006.06)論文種類: 原著論文	胃癌のSentinel Nodeにおける転移診断と微小転移の意義	上之園 芳一 他	腫瘍制御学・消化器外科学

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
鹿児島大学医学雑誌 (0368-5063)58巻1号 Page7-14(2006.05)	肝切除後エネルギー代謝及び肝再生に対する術後早期高気圧酸素療法の効果の検討 (Effects of early postoperative hyperbaric oxygen therapy on energy metabolism and hepatic regeneration after hepatectomy)(英語)	迫田 雅彦 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本大腸肛門病学会雑誌(0047-1801)59巻8号 Page460- 外科(0016-593X)68巻8号 Page930-937(2006.08)	術後5年目に傍直腸リンパ節再発を来した肛門部Bowen癌の1例	中馬 豊 他	腫瘍制御学・消化器外科学
医学のあゆみ(0039-2359)別冊消化器疾患 Ver.3 Page547-549(2006.04)	【消化器疾患 state of arts 消化管(食道・胃・腸)】 主要疾患 現況・病態・診断・治療 食道胃接合部癌 現状と問題点	夏越 祥次 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻7号 Page1288(2006.07)	一期的に切除し得た門脈腫瘍栓を伴う直腸癌多発肝転移症例の一例	崎田 浩徳 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻7号 Page1233(2006.07)	回腸憩室穿孔の一例	尾本 至 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻7号 Page1231(2006.07)	空腸原発と考えられた巨大GISTの1例	内倉 敬一郎 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻7号 Page1211(2006.07)	Biweekly Paclitaxel/TS1併用療法後のsalvage手術にて長期生存を得た切除不能胃癌の三例	上木原 貴仁 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻7号 Page1210(2006.07)	biweekly paclitaxel(TXL)/TS-1療法が有用と考えられた進行胃癌の2例	小倉 芳人 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本外科系連合学会誌(0385-7883)31巻3号 Page641(2006.06)	腹腔鏡補助下外側区域切除を施行した限局性結節性過形成様腫瘍の一例	久保 文武 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本外科系連合学会誌(0385-7883)31巻3号 Page565(2006.06)	腹膜播種陽性胃癌に対するBiweekly Paclitaxel/TS1併用療法後のsalvage手術	上木原 貴仁 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)67巻7号 Page1525-	早期大腸癌に対する鏡視下手術の際に発見された腹部肺吸虫症の1例	中馬 豊 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻7号 Page1145(2006.07)	胆嚢管癌が疑われた胆嚢管閉塞性胆嚢炎の3症例の検討	盛 真一郎 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻7号 Page1124(2006.07)	腹腔鏡補助下肝外側区域切除を施行した限局性結節性過形成(FNH)様腫瘍の一例	佐々木 健 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻7号 Page1113(2006.07)	直腸癌術後に発生した腹腔内デスマイドの一例	又木 雄弘 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻7号 Page1101(2006.07)	早期回盲部印環細胞癌の2切除例	馬場 研二 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻7号 Page1047(2006.07)	食道粘膜下腫瘍を併存した表在型食道癌の一症例	船迫 和 他	腫瘍制御学・消化器外科学
癌と化学療法(0385-0684)33巻Suppl.I Page95-98(2006.06)	【S-1の基礎と臨床】 切除不能・再発進行胃癌に対するBiweekly PTX/S-1併用療法について	帆北 修一 他	腫瘍制御学・消化器外科学

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39巻8号 Page1397-	Gemcitabineが著明に奏功した切除不能胆嚢癌の1例	樋渡 清司 他	腫瘍制御学・消化器外科学
手術(0037-4423)60巻6号 Page805-	【臨床解剖から見た手術のシークレット】 下部食道噴門部癌手術(左開胸法)	奥村 浩 他	腫瘍制御学・消化器外科学
手術(0037-4423)60巻6号 Page747-	【臨床解剖から見た手術のシークレット】 非開胸食道抜去術	夏越 祥次 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本呼吸器外科学会雑誌(0919-0945)20巻3号 Page975(2006.05)	脳転移を伴う肺癌切除例の検討	柳 正和 他	腫瘍制御学・消化器外科学
臨床外科(0386-9857)61巻5号 Page587-595(2006.05)	【手術のための臨床局所解剖】 胃手術のための臨床局所解剖	上之園 芳一 他	腫瘍制御学・消化器外科学
外科治療(0433-2644)94巻5号 Page823-830(2006.05)	【胆管癌の診断と治療】 膵胆管合流異常と発癌の関係の今	高尾 尊身 他	腫瘍制御学・消化器外科学
消化器外科(0387-2645)29巻5号 Page561-566(2006.04)	【クリニカルパスに基づいた術後管理のすべて】 食道の手術 下部食道癌手術	奥村 浩 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本大腸肛門病学会雑誌(0047-1801)59巻5号 Page305(2006.05)	直腸癌術後2年後に骨盤内膿瘍を形成した1例	樋渡 清司 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本大腸肛門病学会雑誌(0047-1801)59巻5号 Page297-	悪性リンパ腫と鑑別が困難であった回盲部のリンパ腫症例	前村 誠 他	腫瘍制御学・消化器外科学
日本大腸肛門病学会雑誌(0047-1801)59巻4号 Page224(2006.04)	5FU・アイソボリン療法が有効であった転移性小腸腫瘍の一例	阿久根 哲 他	腫瘍制御学・消化器外科学
Gan To Kagaku Ryoho. 2006 Nov;33(11):1653-6. Japanese.	[A case of gemcitabine-based chemo-radiation therapy for locally advanced unresectable pancreatic cancer]	Shinchi H, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Int J Oncol. 2006 Dec;29(6):1337-47.	Gene expression profiling of lymph node metastasis by oligomicroarray analysis using laser microdissection in esophageal squamous cell carcinoma.	Uchikado Y, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Dis Esophagus. 2006;19(6):468-72.	Randomized controlled study on preoperative chemoradiotherapy followed by surgery versus surgery alone for esophageal squamous cell cancer in a single institution.	Natsugoe S, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Clin Cancer Res. 2006 Oct 15;12(20 Pt 1):5972-7.	Carcinoembryonic antigen messenger RNA expression in blood predicts recurrence in esophageal cancer.	Setoyama T, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2006 Oct;16(5):344-6.	Small bowel obstruction secondary to Meckel diverticulum detected and treated laparoscopically--case report.	Ishigami S, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Gan To Kagaku Ryoho. 2006 Oct;33(10):1473-5. Japanese.	[A case of effective multidisciplinary treatment with hepatic resection for synchronous multiple liver metastases from rectal cancer]	Haraguchi Y, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
J Hepatobiliary Pancreat Surg.	Role of positron emission tomography in decisions on treatment strategies for pancreatic	Maemura K, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Hepatogastroenterology. 2006 Jul-Aug;53(70):613-5.	P53 and MIB-1 expression in gastrointestinal stromal tumor (GIST) of the stomach.	Hata Y, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Gan To Kagaku Ryoho. 2006 Sep;33(9):1345-8. Japanese.	[A case of advanced rectal carcinoma, preoperative chemo-radiation therapy leading to histological complete response]	Ishigami S, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Breast Cancer. 2006;13(3):317-21.	Sudden hemorrhage without skin invasion in a patient with breast cancer: a case report and literature review.	Kijima Y, et al	腫瘍制御学・消化器外科学

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gan To Kagaku Ryoho. 2006 Jun;33 Suppl 1:95-8. Japanese.	[Combination chemotherapy study of biweekly paclitaxel and S-1 administration in patients with advanced gastric cancer]	Hokita S, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Br J Cancer. 2006 Sep 4;95(5):634-8. Epub 2006 Aug 1.	Expression of osteopontin in oesophageal squamous cell carcinoma.	Kita Y, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
J Surg Res. 2006 Oct;135(2):250-4. Epub 2006 Jul 25.	Area of nodal metastasis and radioisotope uptake in sentinel nodes of upper gastrointestinal cancer.	Arima H, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
J Gastrointest Surg. 2006 Jul-Aug;10(7):1016-22.	Overexpression of vascular endothelial growth factor-C correlates with lymph node micrometastasis in submucosal esophageal	Matsumoto M, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Anticancer Res. 2006 May-Jun;26(3A):2143-7.	Down-regulation of Gadd45 expression is associated with tumor differentiation in non-small cell lung cancer.	Higashi H, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Anticancer Res. 2006 May-Jun;26(3B):2467-72.	HLA-G expression in gastric cancer.	Ishigami S, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Hepatogastroenterology. 2006 May-Jun;53(69):338-41.	Biological aggressiveness of alpha-fetoprotein (AFP)-positive gastric cancer.	Ishigami S, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Clin Cancer Res. 2006 Jun 15;12(12):3740-5.	Expression of p53R2 is related to prognosis in patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Okumura H, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Cancer Metastasis Rev. 2006 Jun;25(2):269-77. Review.	Sentinel lymph node mapping with GI cancer.	Aikou T, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Breast Cancer. 2006;13(2):214-9.	A case of breast carcinoma with cartilaginous and osseous metaplasia.	Kijima Y, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Breast Cancer. 2006;13(2):210-3.	Ductal carcinoma in-situ of the breast detected by [F-18] fluorodeoxyglucose positron emission tomography.	Owaki T, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
J Hepatobiliary Pancreat Surg.	A new technique for pancreaticogastrostomy for the soft pancreas: the transfixing suture	Shinchi H, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Int J Oncol. 2006 May;28(5):1153-62.	Chemoresensitivity prediction in esophageal squamous cell carcinoma: novel marker genes and efficacy-prediction formulae using their	Shimokuni T, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Eur J Surg Oncol. 2006 Jun;32(5):544-7. Epub 2006 Mar 29.	The role of salvage surgery for recurrence of esophageal squamous cell cancer.	Natsugoe S, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Oncol Rep. 2006 Apr;15(4):821-4.	Distribution of p53 mutations in esophageal and gastric carcinomas and the relationship with p53 expression.	Hanazono K, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Breast Cancer. 2006;13(1):95-9.	Adenoma of the nipple: report of a case.	Kijima Y, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Ann Surg. 2006 Mar;243(3):341-7.	Evaluation of sentinel node concept in gastric cancer based on lymph node micrometastasis determined by reverse transcription-polymerase chain reaction.	Arigami T, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
Gan To Kagaku Ryoho. 2006 Jan;33(1):83-5. Japanese.	[A case of successful treatment by low-dose 5-fluorouracil and cisplatin for liver metastases of esophageal adenosquamous carcinoma]	Uchikado Y, et al	腫瘍制御学・消化器外科学
日本心臓血管外科学会雑誌 34(6): 395-	腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療の初期および中期成績—従来手術との比較検討	井畔 能文	第二外科
Transplant Proc 1747-1749, 2006	Intestinal transplantation with alemtuzumab (Campath-1H) induction for adult patients	Nishida S	第二外科

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
HPB 8: 182-188, 2006	Piggyback technique in adult orthotopic liver transplantation: an analysis of 1067 liver transplants at a single center	Nishida S	第二外科
Am J Transplant. 6(1): 140-149, 2006	Refractory ascites after liver transplantation: an analysis of 1058 liver transplant patients at a single center	Nishida	第二外科
臨床透析. 22(4): 463-468, 2006	透析患者の循環器病変—透析患者の末梢血管疾患	牛島 孝	第二外科
Clin Transplant. 20(3): 295-300, 2006	The impact of donor cocaine use on the outcome of adult liver transplantation	Komokata T	第二外科
SURGERY TODAY. 36(5): 481-484, 2006	Tc-DTPA-Galactosyl- Human- Serum- Albumin Liver Scintigraphy for Evaluating Hepatic Functional Reserve Before Hepatectomy in a Patient with Indocyanine Green Excretory Defect: Report of a Case	Kadono J	第二外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 12(5):419-421, 2005	Cystic duct directly joining the main pancreatic duct	Kadono J	第二外科
J Surg Res. 134(2):173-181, 2006	Advantage of ischemic preconditioning for hepatic resection in pigs	Kadono J	第二外科
Surg Today. 36(6): 546-548, 2006	Aortoenteric fistula after endovascular stent grafting for an abdominal aortic aneurysm.	Ueno M	第二外科
Eur J Cardiothorac Surg. 30:592-596, 2006	Effects of ultrasonic skeletonization on internal thoracic and gastroepiploic arteries for coronary artery bypass grafting	Matsumoto K	第二外科
Oncology Reports. 15: 645-652, 2006	Direct activation of the human major vault protein gene by DNA-damaging agents	Yuichi Shimamoto	第二外科
The Japanese Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery. 54(8): 348-350, 2006	Intraoperative Infusion of Epoprostenol Sodium for Patients with Heparin-Induced Thrombocytopenia Undergoing Cardiac Surgery	Keisuke Yamamoto	第二外科
日本臨床外科学会雑誌. 67(5): 1085-1089,	肝硬変合併胆管内発育型肝細胞癌に対し拡大右葉切除術を施行した1例	金澤寛之	第二外科
Ann Thorac Surg. 81: 2324-2325, 2006	New surgical approach to reduce tethering in ischemic mitral regurgitation by relocation of separate heads of the posterior papillary muscle	T. Ueno	第二外科
Asian Cardiovasc Thorac Ann. 14:158-	Vasodilator resistant lethal spasm after uncomplicated off-pump coronary surgery	T. Ueno	第二外科
気管支学. 28(5), 2006	再発性多発性軟骨炎に対してuncovered Ultraflex Stentを留置した1例	花岡 伸治	第二外科
J Neurosurg 104: 884 - 891, 2006	Natural course of incidentally found nonfunctioning pituitary adenoma, with special reference to pituitary apoplexy during follow-	Arita K et al	脳神経外科
Ann N Y Acad Sci. 2006 Jul;1070:282-5	C-type natriuretic peptide is specifically augmented by pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide in rat astrocytes.	Fujikawa K et al	脳神経外科
Epilepsia, 47(S4); 205, 2	The Effect of Gabapentine on Status Epilepticus Induced by Subcutaneous Administration of Kainic Acid in Rats	Imamura S et al	脳神経外科
Acta Neurochir (Wien) 148: 139 - 143, 2006	Characteristics of aneurysms of the internal carotid artery bifurcation.	Arita K et al	脳神経外科
Acta Neurochir (Wien) 148: 77 - 81, 2006	CT perfusion imaging for childhood moyamoya disease before and after surgical	Arita K et al	脳神経外科
Neurosurg Rev 29: 246 - 248, 2006	A pituitary abscess showing high signal intensity of diffusion-weighted imaging	Arita K et al	脳神経外科
脳と神経 第58巻 151-154, 2006	皮質形成異常を伴った高齢発症てんかんの1例	今村 真一 他	脳神経外科
脳神経外科速報 16 (12) 1117 - 1122, 2006	けいれん発作を伴う視床下部過誤腫に対するガンマナイフ治療	有田 和徳 他	脳神経外科

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arthritis&Rheumatism 54(3):808-817,2006	Comparative analysis of gene expression profiles in intact and damaged regions of human osteoarthritic cartilage.	Komiya S	整形外科
Arthritis&Rheumatism 54(10):3126-3134,2006	In vitro and in vivo efficacy of a recombinant immunotoxin against folate receptor β on the activation and proliferation of rheumatoid arthritis synovial cells.	Komiya S	整形外科
Molecular and Cellular Biology 26(16): 6105- 6116,2006	CCA AT/enhancer-binding protein homologous protein(CHOP) regulates osteoblast differentiation.	Imamura T	整形外科
Molecular Therapy 14(5):673-683,2006	Identification and isolation of embryonic stem cell-derived target cells by adenoviral conditional targeting.	Nagano S	整形外科
Journal of Hepatology 44(6):1046-1054,2006	In vivo hepatic HB-EGF gene transduction inhibits Fas-induced liver injury and induces liver regeneration in mice:a comparative study	Nagano S	整形外科
Journal of Cellular Biochemistry 97(1):33- 44,2006	The control of chondrogenesis.	Ijiri K	整形外科
Genes to Cells 11(11):1267-1280	Nuclear and cytoplasmic c-Ski differently modulate cellular functions.	Imamura T	整形外科
Journal of Neuroscience Research83(5):731- 743,2006	Basic fibroblast growth factor endows dorsal telencephalic neural progenitors with the ability to differentiate into oligodendrocytes but not γ -aminobutyric acidergic neurons.	Abematsu M	整形外科
International Journal of Oncology 29(1):175- 183,2006	HAS3-related hyaluronan enhances biological activities necessary for metastasis of osteosarcoma cells.	Tofuku K	整形外科
International Journal of Oncology 29(3):681- 688,2006	Cell cycle-specific changes in hTERT promoter activity in normal and cancerous cells in adenoviral gene therapy:a promising implication of telomerase-dependent targeting cancer gene	Nagano S	整形外科
Spine 31(21):2432- 2438,2006	Preventive effect of erythropoietin on spinal cord cell apoptosis following acute traumatic injury in rats.	Arishma Y	整形外科
International Journal of Molecular Medicine 18(1):113-117,2006	Resistance to endoplasmic reticulum stress is an acquired cellular characteristic of rheumatoid synovial cells.	Tsuchimochi K	整形外科
Spinal Cord 44(7):461- 464,2006	Delayed segmental motor paralysis following laminoplasty:two case reports.	Yone K	整形外科
Acta Histochemica 108(5):357-364,2006	Midkine and its receptor in regenerating rat skeletal muscle after bupivacaine injection.	Ijiri K	整形外科
The Spine Journal 6:S14,2006	The roentgenographic characteristics of the cervical spine in healthy elders.	Matsunaga S	整形外科
Neurology India 54:448-450,2006	Ossification of the posterior longitudinal ligament of the thoracic spine in association of polycystic ovary syndrome.	Imamura K	整形外科
Modern Rheumatology 16(Suppl.):128,2006	Surgical outcome for rheumatoid cervical spine in the nonambulatory myelopathic(Ranawat IIIb)patients.	Matsunaga S	整形外科
Modern Rheumatology 16(Suppl.):128-129, 2006	A new assessment of surgical outcomes for cervical lesions in patients with rheumatoid arthritis.	Matsunaga S	整形外科
Modern Rheumatology 16(Suppl.): 129,2006	Clinical study of total hip arthroplasty in RA patients-over ten years follow up	Matsunaga S	整形外科
Modern Rheumatology 16(Suppl.): 195,2006	Steroid induced osteoporosis in RA patients.	Sunahara N	整形外科

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Current Stem Cell Research&Therapy 1(2):267-277,2006	Mechanisms of neural stem cell fate determination:extracellular cues and intracellular programs.	Abematsu M	整形外科
糖尿病・代謝・内分泌 282-286,2006	多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)におけるインスリン抵抗性改善薬の有効性	堂地 勉	産婦人科
産婦人科治療 92(3); 311-317,2006	わが教室における子宮筋腫の管理	吉永 光裕	産婦人科
臨床婦人科産科 60(4);600-603,2006	更年期と肥満や体脂肪分布異常	堂地 勉	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res 32(3);309-314,2006	Preoperative plasma osteopontin levels as a biomarker complementary to carbohydrate antigen 125 in predicting ovarian cancer	Nakae M,et al	産婦人科
Hormone Frontier in Gynecology 13(3);219-224,2006	女性の肥満とレプチン	岩元 一朗	産婦人科
臨床婦人科産科 60(9);1191-1195,2006	PCOSと肥満(体脂肪分布異常)	堂地 勉	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res 32(6);610-612,2006	Severe leg compartment syndrome associated with dorsal lithotomy position during radical hysterectomy	Shintaro Y,et al	産婦人科
日本産科婦人科学会九州連合地方部会 57:57-61,2006	腹腔鏡下子宮筋腫核出術・子宮全摘術	山崎 英樹、他	産婦人科
臨床エビデンス産科学 第2版 333-341,2006	多胎妊娠	池田 敏郎	産婦人科
日本産科婦人科学会雑誌 58(12):1830-	安全性を考慮した内視鏡手術の適応と研修プログラムの実践	沖 利通	産婦人科
日本産科婦人科学会鹿児島地方部会雑誌 14:1-7,2006	ホルモン補充療法をめぐる最新情報	堂地 勉	産婦人科
日本産科婦人科学会鹿児島地方部会雑誌 14:8-12,2006	我々の行っている腹腔鏡研修プログラム	沖 利通	産婦人科
日本産科婦人科学会鹿児島地方部会雑誌 14-13-15,2006	心疾患合併妊娠の管理	川俣 和弥	産婦人科
日本産科婦人科学会鹿児島地方部会雑誌 14:16-20,2006	腹腔鏡下子宮筋腫核出術および子宮全摘術のポイントとそのコツ	山崎 英樹、他	産婦人科
日本産科婦人科学会鹿児島地方部会雑誌 14:20-22,2006	Labial adhesion in an elderly women complicated by an epidermal cyst in the lesion: a case report and review of the literature	Masaki K,et al	産婦人科
Circulation Journal 71:211-213,2007	Risks and pregnancy outcome in women with prosthetic mechanical heart valve replacement	Kazuya K,et al	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res 33(1);91-94,2007	Giant ovarian cancer weighing 100kg with poor prognosis	Yanazume Y,et al	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res 33(1);87-90,2007	Torsion of the normal ovary and oviducct in a pre-pubertal girl	Kamio M,et al	産婦人科
J. Hum. Genet. 51(4): 341-352	Corrective effect on Fabry mice of yeast recombinant human alpha-galactosidase with N-linked sugar chains suitable for lysosomal	Sakuraba H, et al	皮膚疾患学
アレルギー科21(4): 335-340	NSAIDsの抗炎症作用とその機序	金蔵 拓郎	皮膚疾患学
Ther. Apher. Dial. 10(3): 247-256	Granulocyte and Monocyte Adsorption Apheresis (GCAP) for Refractory Skin Diseases Caused by Activated Neutrophils and Psoriatic Arthritis : Evidence that GCAP Removes Mac-1-Expressing Neutrophils.	Kanekura T, et al	皮膚疾患学

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ther. Apher. Dial. 10(3) : P287-290	Granulocyte and Monocyte Adsorption Apheresis for Cutaneous Allergic Vasculitis.	Kanekura T, et al	皮膚疾患学
Int. J. Clin. Oncol. 11(3) : 214-220	Management of sentinel lymph nodes in malignant skin tumors using dynamic lymphoscintigraphy and the single-photon-emission computed tomography / computed	Ishihara T, et al	皮膚疾患学
Int. J. Cancer 118(12):3054-3061	Clinical significance of serum Th1-, Th2- and regulatory T cells-associated cytokines in adult T-cell leukemia/lymphoma: High interleukin-5 and -10 levels are significant unfavorable	Inagaki A, et al	皮膚疾患学
臨床皮膚科 60(7): 607-610	陰囊に生じたverruiform xanthomaの3例	川村 絵里奈 他	皮膚疾患学
西日本皮膚科 68(4): 408-412	梶子柏皮湯が老人の掻痒性皮膚疾患に及ぼす影響の臨床研究VASとかゆみ日記を用いた	東 裕子 他	皮膚疾患学
日本大腸肛門病学会 雑誌 59(8) :460-465	術後5年目に傍直腸リンパ節再発を来した肛門部Bowen癌の1例	中馬 豊 他	皮膚疾患学
J. Dermatol. 33(9) : 603-608	Genetic analysis of the ferrochelatase gene in eight Japanese patients from seven families with erythropoietic protoporphyria.	Yotsumoto S, et al	皮膚疾患学
J. Dermatol. 33(9): 644-645	Multiple giant pilomatricoma.	Uchimiya H, et al	皮膚疾患学
カラーアトラス 皮膚病 変から診る膠原病	急性皮膚エリテマトーデス	金蔵 拓郎	皮膚疾患学
J. Dermatol. 33(10): 676-683	Bidens pilosa suppresses interleukin- β -induced cyclooxygenase-2 expression through the inhibition of mitogen activated protein kinases phosphorylation in normal human	Yoshida N, et al	皮膚疾患学
J. Dermatol. 33(11): 813-816	Eruptive pruritic papular porokeratosis: A pruritic variant of porokeratosis.	Kanekura T, et al	皮膚疾患学
J. Dermatol. 33(12): 855-857	Primary squamous cell carcinoma of the frontal sinus.	YOSHIDA N, et al	皮膚疾患学
J. Dermatol. 33(12) : 865-868	Giant malignant peripheral nerve sheath tumor of the scalp.	Fukushima S, et al	皮膚疾患学
Cancer. Res. 66(23) : 11323-11330	A small interfering CD147-targeting RNA inhibited the proliferation, invasiveness, and metastatic activity of malignant melanoma.	Chen X, et al	皮膚疾患学
Med. Hypotheses. 68(6) : 1429-1430	Inhibition of HMGB1 by deep ocean water attenuates endotoxin-induced sepsis.	Kawahara K, et al	皮膚疾患学
皮膚疾患最新の治療 2007-2008	偽リンパ腫	金蔵 拓郎	皮膚疾患学
皮膚科の臨床48(13): 1777~1783	神崎病 -その発見(1986年)とその後の展開 (~2006年)-	神崎 保	皮膚疾患学
Scand.J.Plast.Reconstr. Surg.Haud.Surg 41(2):93-95	Intramuscular venous malformation in the upper arm with gross calcifications and compression of the ulnar nerve	Muchemwa FC, et al	皮膚疾患学
日本皮膚科学会雑誌 117(1) :1-13	疥癬診療ガイドライン(第2版)(解説)	石井 則久 他	皮膚疾患学
西日本皮膚科 69(1) : 31-34	深肘リンパ節がセンチネルリンパ節として同定された手掌のEccrine Porocarcinoma	青井 淳 他	皮膚疾患学
Clinia. Chimica. Acta. 378(1-2) : 142-146	Cytochemical analysis of storage materials in cultured skin fibroblasts from patients with I-cell disease.	Kawashima I, et al	皮膚疾患学
Dermatol. 214 : 170- 173	Multicentric Castleman Disease with Cutaneous Manifestations: Report of 2 Cases and Comparison with Systemic Plasmacytosis.	Higashi Y, et al	皮膚疾患学
J.Dermatol. 34(5):333- 335	Transverse twist flap for lip reconstruction in patients with lentigo maligna of the labial	Shigeto M, et al	皮膚疾患学

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Boiochemical and Biophysicai Research Communications	p16INK4a and p14ARF methylation as a potential biomaker for human bladder cancer	Kawamoto K. et al.	泌尿器科
Oncology Reports	Identification of differentially expressed genes in human bladder cancer through genome-wide gene expression profiling	Kawakami K. et al.	泌尿器科
Cancer	Smoking influences aberrant CpG hypermethylation of multiple genes in human prostate carcinoma	Enokida H. et al.	泌尿器科
International Journal of Molecular Medicine	Molecular basis for the involvement of thymidine phosphorylase in cancer invasion	Gotanda T. et al.	泌尿器科
Cancer Letters	Induction of thymidine phosphorylase expression by AZT contributes to enhancement of 5'-DFUR cytotoxicity	Tsuneyoshi K. et al.	泌尿器科
あたらしい眼科 23(12) : 1625-7. 2006	網膜色素変性症の網膜剥離に硝子体手術を行った2症例.	上笹貫 太郎 他	眼科
臨床眼科 60(5) : 849-52. 2006	PETにて特徴的所見を呈した結膜悪性黒色腫の1例.	あべ松 泰子 他	眼科
日本眼科学会雑誌 110(8) : 601-6. 2006	Vogt-小柳-原田病に虚血性視神経症を合併した一例.	あべ松 泰子 他	眼科
眼薬理 20(1):35-40. 2006	ドラッグデリバリーシステム 超音波とマイクロバブル(MB)を用いたドラッグデリバリーシステム.	園田 祥三	眼科
眼科手術 19(4) : 441-5. 2006	海外の大規模比較試験に見るビトレクミーとバックリング手術の比較について.	山切 啓太 他	眼科
J Glaucoma 15(2) : 117-9. 2006	Ultrastructure of the trabecular meshwork in secondary glaucoma eyes after intravitreal triamcinolone acetonide.	Kubota T, et al	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 244(6) : 747-9. 2006	Alteration of tear cytokine balance by eye closure: analysis by multicytokine assay.	Uchino E, et al	眼科
Arch Ophthalmol 124(7) : 1005-11. 2006	Cellular migration associated with macular hole: a new method for comprehensive bird's-eye analysis of the internal limiting membrane.	Hisatomi T, et al	眼科
Jpn J Ophthalmol ; 50:557-8. 2006	Iris Involvement in Natural Killer/T-cell Lymphoma.	Shimonagano Y, et al	眼科
Ophthalmology 114(2) : 289-96. 2007	Reduced incidence of intraoperative complications in a multicenter controlled clinical trial of triamcinolone in vitrectomy.	Yamakiri K, et al	眼科
Arch Ophthalmol 125(2) : 246-51. 2007	Nitric oxide synthase and superoxide dismutase gene polymorphisms in Behcet disease.	Nakao K, et al	眼科
Retina 27(2) : 174-9. 2007	TRIAMCINOLONE ACETONIDE-ASSISTED PARS PLANA VITRECTOMY IMPROVES RESIDUAL POSTERIOR VITREOUS HYALOID REMOVAL: Ultrastructural Analysis of the Inner Limiting Membrane.	Matsumoto H, et al	眼科
J Glaucoma 16(2) : 220-4. 2007	Intraocular pressure after intravitreal injection of triamcinolone acetonide following vitrectomy for macular edema.	Yamashita T, et al	眼科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌	扁桃周囲膿瘍局在部位と臨床像	西元 謙吾	耳鼻咽喉科
アレルギーの臨床	鼻粘膜病変による鼻閉を初期症状としたサルコイドーシス症例	西元 謙吾	耳鼻咽喉科
喉頭	喉頭癌の治療前診断としてのPETの有用性についての検討	川島 雅樹	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床	スギ花粉症に対する初期療法としての塩酸レボカバステチン点鼻液の有用性	宮之原 郁代	耳鼻咽喉科

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Vaccine	Intranasal immunization with phosphorylcholine induces antigen specific mucosal and systemic immune responses in mice	Tanaka,N	耳鼻咽喉科
Med.Feb	Nasal inoculation of an adenovirus vector encoding 11 tandem repeats of Abeta1-6 upregulates IL-10 expression and reduces amyloid load in a Mo/Hu APPswe PS1dE9 mouse model of Alzheimer's disease. J Gene	Fukuiwa,T	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx in press	THF- α upregulates VCAM-1 and NF- κ B in fibroblasts from nasal polyps	J.Ohori	耳鼻咽喉科
第23回鹿児島県人工透析研究会誌. 52-56, 2006.	当院における透析シャント不全に対する経皮的血管形成術の治療成績.	宮川 勝也 他	放射線診断治療学
臨床放射線. 51(1): 135-141, 2006.	18 F-FDG PET肺癌診断における早期像・遅延像から求めたSUV増加率の至適カットオフ値の	上村 清央 他	放射線診断治療学
鹿児島県医師会報. 4月号:4-9,2006.	視点 鹿児島がん治療最前線(中).	三木 徹生 他	放射線診断治療学
鹿児島県医師会報. 5月号:4-7,2006.	視点 鹿児島がん治療最前線(下).	三木 徹生 他	放射線診断治療学
PET Link!. 2(5), 2006.	肛門癌術後再発.	上村 清央	放射線診断治療学
第25回九重セミナーテキスト. 10-20,2006.	腹部:泌尿器	福倉 良彦	放射線診断治療学
PET Link!. 2(6), 2006.	食道癌術後再発疑い.	上村 清央	放射線診断治療学
J Thorac Imaging.21(4):293-295,2006.	An adult case of bilateral true tracheal bronchi associated with hemoptysis.	Y Kumagae,et al	放射線診断治療学
臨床核医学. 39(5):66,2006.	第46回日本核医学科井学術総会のご挨拶	中條 政敬	放射線診断治療学
緩和医療学. 8(4):385-392, 2006.	がん疼痛緩和についての医師へのアンケート結果—WHOラダーの医師の認知度—	三木 徹生 他	放射線診断治療学
MEDICAL NOW.No60;3-5,2006.	核医学—医学, 医療, 画像の融合時代を迎えて—	中條 政敬	放射線診断治療学
消化器画像. 8(6):693-698, 2006.	特集 膵・胆道周囲の腫瘍性病変—後腹膜を中心に	中條 政敬 他	放射線診断治療学
臨床放射線. 51(11): 1612-1615, 2006.	副腎腫瘍IVR.	馬場 康貴 他	放射線診断治療学
Annals of Nuclear Medicine.20(8):553-556,2006.	18 F-FDG PET/CT findings of a right subphrenic foreign-body granuloma.	Masatoyo N,et al	放射線診断治療学
IVR会誌. 21(4):421-424, 2006.	上腸間膜動脈狭窄による慢性腸管虚血に対してのステント留置術が奏功した2例.	林 完勇 他	放射線診断治療学
臨床放射線. 51(12): 1766-1769, 2006.	膵転移巣がFDG-PETで発見された原発性肺癌の1例.	新村 耕平 他	放射線診断治療学
病院新聞—核医学会特集号— 第1952号.	第46回日本核医学会学術総会の開催にあたって.	中條 政敬	放射線診断治療学
Eur J Cardiothorac Surg 30:592-596,2006	Effects of ultrasonic skeletonization on internal thoracic and gastroepiploic arteries for coronary artery bypass grafting	K. Matsumoto, et al	麻酔科
Cardiovasc Drugs Ther 20(3):219-227,2006	Carvedilol versus Metoprolol for the prevention of atrial fibrillation after off-pump coronary bypass surgery: rationale and design of the Carvedilol or Metoprolol Post-Revascularization Atrial Fibrillation Controlled	Kamei M, et al	麻酔科
日歯麻誌 34(2):121-125,2006	吸入麻酔薬と環境汚染	上村 裕一	麻酔科
臨床麻酔 30(1):115,2006	マグネシウムの基礎と臨床—日常診療および周術期における役割	上村 裕一	麻酔科

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
麻酔科診療プラクティス 19:82-83,2006	吸入麻酔薬と環境汚染問題	上村 裕一	麻酔科
スーパーローテート各 科研修シリーズ 158- 160,2006	第4章 外科研修医のために 1)術前検査・術 前処置	山口 俊一郎, 上村 裕一	麻酔科
スーパーローテート各 科研修シリーズ 161- 163,2006	第4章 外科系研修医のために 2)術前内服薬 -続ける薬・止める薬	門田 善民, 上村 裕一	麻酔科
スーパーローテート各 科研修シリーズ 165- 168,2006	第4章 外科系研修医のために 3)術後鎮痛法	恒吉 勇男 他	麻酔科
循環制御 27(1):4 0,2006	僧帽弁の解剖と TEE の基本断面	高山 千史	麻酔科
循環制御 27(1):10- 15,2006	僧帽弁の定量評価	松永 明	麻酔科
臨床麻酔 30 (1):115,2006	書評 外 須美夫 編集 マグネシウムの基礎と 臨床-日常診療および周術期における役割	上村 裕一	麻酔科
ペインクリニック 27(1):125,2006	文献抄訳 Trigeminal small-fiber sensory neuropathy causes burning mouth syndrome	益山 隆志	麻酔科
Cardiovascular Anesthesia 10 (1):73- 76,2006	◇文献レビュー2005◇ 3.小児に関する話題	尾前 毅	麻酔科
麻酔科学レビュー 2006:230-234,2006	麻酔科のマンパワーと医療経済	大瀬 克広	麻酔科
麻酔 55:1140- 1148,2006	Org 9426(臭化ロクロニウム)の筋弛緩作用 - 臭化ベクロニウムとの比較-	上村 裕一	麻酔科
麻酔器診療プラクティス 19:32-36,2006	麻酔器の安全機構	當房 和己 他	麻酔科
臨床と研究 83:1322- 1326,2006	麻酔薬の適切な使い方	恒吉 勇男 他	麻酔科
日本小児がん学会	出生時より下肢麻痺を伴った先天性神経芽腫	林田 良啓	小児外科
日本周産期・新生児医 学会	低出生体重の外科治療	高松 英夫	小児外科
FASEB J 21(9): 2108- 2012, 2007	Gastrointestinal hormones (anorexigenic peptide YY and orexigenic ghrelin) influence neural tube development.	Inui A et al	心身医療科
Endocrinology 148(6): 3004-3012, 2007	Ghrelin Treatment causes increased food intake and retention of lean body mass in a rat model of cancer cachexia.	Inui A et al	心身医療科
Am J Psychiatry 164(3): 528-529, 2007	Olanzapin-induced hyperglycemia in anorexia nervosa.	Yasuhara D et al	心身医療科
Regulatory Peptides, Jan11, 2007	Increased circulating cholecystokinin contributes to anorexia and anxiety behavior in mice overexpressing pancreatic polypeptide.	Inui A et al	心身医療科
Peptides Jan3, 2007	A role for pancreatic polypeptide in feeding and body weight regulation.	Kojima S et al	心身医療科
J Psychiatry Res 41(10): 814-820, 2007	Incomplete restoration of the secretion of ghrelin and PYY compared to insulin after food ingestion following weight gain in anorexia	Nakahara T et al	心身医療科
J Diabetes Complications 20: 380- 383, 2006	A motilin agonist, erythromycin, decreases circulating growth hormones levels in normal subjects but not in diabetic subjects.	Inui A et al	心身医療科
J Intern Med 260(5): 484-487, 2006	HER-2 overexpression and targeted treatment by trastuzumab in a very old patient with gastric cancer.	Inui A et al	心身医療科
Science 313(5791): 1236-1238, 2006	Role of leucine in regulating food intake.	Inui A et al	心身医療科
J Gastroenterol Hepatol 21(9): 1501-	Peptide YY3-36 and pancreatic polypeptide suppress food intake.	Inui A et al	心身医療科

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Congress Series 1287: 285-287, 2006	Relationship between neuropsychological performance and regional cerebral blood flow in anorexia nervosa.	Naruo T et al	心身医療科
Int Congress Series 1287: 361-367, 2006	Acylated ghrelin and des-acyl ghrelin exert different effects on the gastrointestinal motility in conscious rats.	Inui A et al	心身医療科
Peptides 27(9): 2332-2342, 2006	Leptin transgene expression in the hypothalamus enforces euglycemia in diabetic, insulin-deficient nonobese Akita mice and leptin-deficient obese ob/ob mice.	Inui A et al	心身医療科
Horm Behav 50(2): 261-265, 2006	Ghrelin concentrations and cardiac vagal tone are decreased after pharmacologic and cognitive-behavioral treatment in patients with bulimia nervosa.	Nakahara T et al	心身医療科
Philos Trans R Soc Lond B Biol Sci 361(1471): 1281-1289,	Anorexia in cancer: role of feeding-regulatory peptides.	Inui A et al	心身医療科
Cell Metab 3(4): 267-275, 2006	Role of hepatic STAT3 in brain-insulin action on hepatic glucose production.	Inui A et al	心身医療科
Psychoneuroendocrinology 31(4): 452-458, 2006	Relationship between pretreatment laboratory-measured episodes of reactive hypoglycemia and short-term weight restoration in anorexia nervosa: A preliminary study.	Yasuhara D et al	心身医療科
Neurosci Lett 394(3): 256-258, 2006	Inhibitory effect of 5-hydroxytryptamine on hyperphagia in mice with genetic overexpression of neuropeptide Y.	Inui A et al	心身医療科
自己血輸血19(1) 18-23: 2006.	自己血輸血改訂ガイドライン案での検討課題について -当院での貯血式自己血輸血の現状と照らし合わせて-	古川 良尚 他	輸血部
医学のあゆみ 218(6) 612-616: 2006	自己血輸血の現状と課題	古川 良尚	輸血部
J Neurovirol 12: 171-177: 2006.	Clinical symptoms and the odds of human T-cell lymphotropic virus type 1-associated myelopathy/ tropical spastic paraparesis (HAM/TSP) in healthy virus carriers: application of best-fit logistic regression equation based on host genotype, age, and Zidovudine plus lamivudine in Human T-Lymphotropic Virus type-1-associated myelopathy: a randomised trial.	古川 良尚 他	輸血部
Retrovirology 3: 63: 2006.	Noninvasive and Quantitative Evaluation of the Patency of Internal Mammary Artery Bypass Graft to the Left Anterior Descending Artery by Transthoracic Doppler	古川 良尚 他	輸血部
Journal of Cardiology. 2006 Dec; Vol. 48 No.6: 305-314	Noninvasive and Quantitative Evaluation of the Patency of Internal Mammary Artery Bypass Graft to the Left Anterior Descending Artery by Transthoracic Doppler	水上 尚子	検査部 (臨床技術部)
超音波検査技術(1881-4506)31巻2号 Page165(2006.04)	大動脈弁疾患の評価 あなたは弁だけを見ていませんか	水上 尚子	検査部 (臨床技術部)
鹿児島県臨床検査技師会誌「かりんぎ」第	フローサイトメーターの原理と血液細胞の抗原の発現について	政元 いずみ	検査部 (臨床技術部)

計 292

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 高松 英夫			
管理担当者氏名	薬剤部長	山田 勝士	看護部長	亀割 成子
	総務課長	溝口 陸奥夫	医務課長	市山 郁生

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌		総務課	(1) 入院患者カルテは各病棟で管理し、退院患者カルテは、病歴管理室で保存している。 (1診療部門科1カルテ) (2) 外来患者カルテは、各診療部門科において管理し、保存している。 (1診療部門科1カルテ) (3) エックス線フィルムの管理保存 ①CT、MRI、RIのエックス線フィルムについては、放射線部で管理し保存している。 ②その他のエックス線フィルムは、各診療部門科において管理し保存している。
各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		各診療部門科	
処方せん		薬剤部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課 薬剤部	
確規 保則 の第 状9 条の 2 3 及び 第1 1条 各号 に掲 げる 体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	看護部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医務課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医務課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医務課	

(注) 「診療に関する記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 高松 英夫
閲覧担当者氏名	総務課長 溝口 陸奥夫
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	73.6%	算定期間	平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		12,491人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,830人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		339人
	D: 初診の患者の数		21,333人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・所属職員:専任(1)名 兼任(10)名 ・活動の主な内容 (1) 医療安全を確保するための改善方策 (2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営 (3) インシデントの分析 (4) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導 (5) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導 (6) 医療安全管理委員会の円滑な運営 (7) 医療安全に係る連絡調整 (8) その他医療安全対策の推進	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・指針の主な内容: (1) 基本指針 (2) 組織体制 ① 人的体制 ② 審議組織 ③ 管理組織	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容 (1) 医療の安全管理体制を確保すること。 (2) 医療に関する安全管理指針に関すること。 (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。 (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。 (5) その他医療の安全管理等に関すること。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 11 回
・研修の主な内容: 医療事故等の防止に関する組織的な研修を年7回、及びシンポジウムを1回実施した。	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無 ・その他の改善のための方策の主な内容: (1) 医療安全管理強化月間の設定(5月、11月) (2) 新規採用者、転入者(研修医含む)及び新リスクマネージャーへの医療安全管理研修会を年度3回実施 (3) 医療安全管理マニュアルを毎年度改訂 (4) 研修医が単独で行ってよい処置・処方の方針の明文化 (5) 身体抑制についての基本方針を決定	